



一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
Japan Business Machine and Information System Industries Association

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMIA)とは……

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会は、我が国のビジネス機械とそれに付随する情報システム産業の総合的な発展、並びにその改善合理化を図ることにより、日本経済の発展とオフィス環境の向上に寄与することを目的とする業界団体です。

情報技術の進化は、デジタル・ネットワーク時代の高度化をもたらし、オフィス環境に大きな変化を促しております。

当協会では、ハード重視から製品を含むトータルなビジネスソリューションの提供をより重視するという業態の変化を受けて、製造事業者のみならず、販売、サービス関連の事業者とも連携を深めて、政策提言、国際協力、温暖化防止、環境保全、標準化、製品安全等に関する事業や調査研究事業を行い、業界の直面する内外の重要課題に対応して、活発な委員会・部会活動を展開しています。

OUTLINE

事業内容

ビジネス機械・情報システム産業に関連する

- 調査研究及び情報の提供
- 効率化方策の策定及びその推進
- 規格の作成及び標準化の推進
- 国際交流及び国際協力の推進
- 環境、安全及び品質問題に関する事業の推進
- 普及と啓蒙
- その他、当協会の目的を達成するために必要な事業

設立の経緯

1960年(昭和35年)2月17日：日本事務機械工業会の発足

1966年(昭和41年)11月1日：社団法人日本事務機械工業会の設立

2002年(平成14年)4月1日：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会に改称

2012年(平成24年)4月1日：一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会に移行

会員の種別と資格

- 正会員：ビジネス機械・情報システムの製造事業、及びこれらに密接に関連する事業を営む法人
*正会員は正会員のグループ企業を登録し、委員会・部会活動に参加することができます。
- 賛助会員：本会の目的に賛同し、協力しようとする法人

主な対象機器

- 複写機・複合機
- ページプリンタ
- デジタル印刷機
- データプロジェクター
- シュレッダ
- ドキュメントマネジメントシステム
- タイムレコーダ
- コミュニケーションボード
- ECR/POS(金銭登録機)
- カード及びカードシステム
- 電卓・電子辞書
- 電子ペーパー

ご挨拶

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会

会長 内田 恒二

(キヤノン株式会社 特別顧問)



皆様

JBMAは、2012年4月1日をもって一般社団法人として新たなスタートを切りました。近年企業を取り巻く環境はますます厳しさを増し、更に環境変化のスピードへの対応力も求められています。そのさなかに東日本大震災に見舞われた日本は、ようやく立ち上がりかけたものの、成長へのロードマップが極めて描きにくい状況に置かれているように思います。

このような中でJBMAの会長を仰せつかり、誠に身の引き締まる思いであります。

私共の業界は、日本の全てのオフィス事務分野に携わっており、業界を活性化することが、この日本を元気にしていくことに繋がると考えます。そのために、『新興市場の開拓推進』、『地球温暖化対策』、『オフィス環境の見える化』など、市場価値やユーザーニーズの高い課題に取り組んでまいります。これら実現のためには、海外を含めた政府関係機関、業界団体との連携や、会員企業の皆様へ活動内容と役立つ情報の発信が不可欠と考え積極的に推進してまいります。

歴代築いて来られた成果を引き継ぎつつ、新たな改善や改革の視点を常に持ち、業界の更なる発展に貢献できますよう、微力ながら精一杯努力してまいります所存でございます。

皆様のJBMA活動への一層のご理解と積極的な参加をお願い申し上げます。



委員会・部会の主な活動と成果

JB Mia活動の基本方針として、デジタル化、ネットワーク化の推進、地球環境問題、ユーザーニーズ変化への対応等、業界の共通重要課題の解決への貢献をモットーに機動的な事業活動をしています。

活動事例紹介

環境・回収リサイクル

当協会が所管する製品に対する国内外の環境関連法規制（回収リサイクルや含有化学物質など）や環境ラベル（エコマークやブルーエンジェルなど）に関する動向調査・対応等、環境をテーマにした様々な活動を行っています。

複写機・複合機／デジタル印刷機の製造メーカー10社が中心となり、各社が営業活動で下取りした他社の使用済み機を「回収機交換センター」へ集荷し、そこからそれぞれの製造メーカーに使用済み機を返却するシステムを構築しています。

この活動により会員のリユース・リサイクルの促進、回収時物流の共同化による輸送時のCO₂排出の削減等に寄与しています。

標準化関連

各委員会・部会での標準化活動に加えて、事務機器のアクセシビリティやユーザーインターフェイス向上のための標準化活動、カラーマネジメント関連の標準化活動などを推進しています。これら活動の成果である、JBMS（協会規格）やJB Mia-TR（協会標準報告書）をホームページで公開し、業界標準の普及促進にも努めています。

また、ISO及びIECの国際標準化に係わる国内審議団体として、国際会議への参加、日本発の国際標準の提案などを積極的に行っています。さらに、制定／改正された国際規格のJIS化活動を行い、規格の普及を図っています。

国際関連

めまぐるしく変貌する国際社会の中で、WTO関連やAPECなどのグローバルテーマに関して、複合機の関税に関するWTO提訴活動を長年進めてきたのを例に、事業運営及びビジネスに関与するテーマの分析、研究の上、業界の利益、品質向上を目指し、各種諸問題、課題解決を推進しています。

BMLinkSプロジェクト

ネットワーク上のオフィス機器の接続性、データ互換性を飛躍的に向上させるインターフェイス仕様“BMLinkS”の開発と利用環境の整備を進めています。

2006年までに各種業界標準仕様の策定と「統合プリンタドライバ」を始めとする共通ソフトウェアの公開を通して、マルチベンダーのオフィス機器間のスキャン・ストレージ・プリント機能を簡単に利用できるドキュメント流通インフラを実現しました。

更に2008年にはオフィスデバイス管理の業界標準を、2010年には情報マーケティングの業界標準を公開し、ユーザー、IT管理者等の利便性向上を目指した活動を着実に推進しています。



役員名簿

Board Members

代表理事	会 長	内田 恒二	キヤノン株式会社 特別顧問
代表理事	筆頭副会長	松崎 正年	コニカミノルタ株式会社 取締役会議長
理 事	副 会 長	高橋 興三	シャープ株式会社 代表取締役社長
理 事	副 会 長	碓井 稔	セイコーエプソン株式会社 代表取締役社長
理 事	副 会 長	鈴木 護	東芝テック株式会社 代表取締役 取締役社長
理 事	副 会 長	山本 忠人	富士ゼロックス株式会社 代表取締役社長
理 事	副 会 長	近藤 史朗	株式会社リコー 代表取締役 会長執行役員
理 事		山口 治彦	アマノ株式会社 代表取締役専務
理 事		檜尾 幸雄	カシオ計算機株式会社 代表取締役副社長
理 事		駒口 克己	京セラドキュメントソリューションズ株式会社 代表取締役社長
理 事		坂本 時雄	株式会社デュプロ 代表取締役社長
理 事		小河 寿	パナソニック株式会社 パナソニックシステムネットワークス(株) 代表取締役副社長
理 事		小池 利和	ブラザー工業株式会社 代表取締役社長
理 事		羽山 明	理想科学工業株式会社 代表取締役社長
代表理事	専務理事	中西 英夫	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
業務執行理事	常務理事	松波 孝信	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
監 事		松野 勉	一般財団法人日本品質保証機構 特別参与
監 事		遠藤 浩	株式会社沖データ 常務取締役



正会員 Regular Members

アイリスオーヤマ株式会社
アマノ株式会社
沖電気工業株式会社
カシオ計算機株式会社
キヤノン株式会社
京セラドキュメントソリューションズ株式会社
コニカミノルタ株式会社
シャープ株式会社
セイコーエプソン株式会社
セイコープレジジョン株式会社
ソニー株式会社
株式会社テクノ・セブン
株式会社デュプロ
株式会社東芝
東芝テック株式会社
日本電気株式会社

パナソニック株式会社
株式会社日立製作所
フェローズジャパン株式会社
富士ゼロックス株式会社
富士通株式会社
富士フイルム株式会社
ブラザー工業株式会社
プラス株式会社
マックス株式会社
三菱電機株式会社
村田機械株式会社
株式会社明光商会
株式会社リコー
理想科学工業株式会社



賛助会員 Supporting Members

アコ・ブランズ・ジャパン株式会社
インターテック株式会社
株式会社岡村製作所
オリンパス株式会社
北川工業株式会社
京セラ株式会社
共同印刷株式会社
株式会社グレーブシステム
サクサ株式会社
サトーホールディングス株式会社
株式会社サムスン横浜研究所
昌栄印刷株式会社

Sky株式会社
大日本印刷株式会社
株式会社東陽テクニカ
凸版印刷株式会社
日本カード株式会社
日本通運株式会社
日立オムロンターミナルソリューションズ株式会社
株式会社ビッグバレー
マイクロウェーブファクトリー株式会社
マイクロソリューション株式会社



JB MIAの理念・あるべき姿

Management philosophy of JB MIA

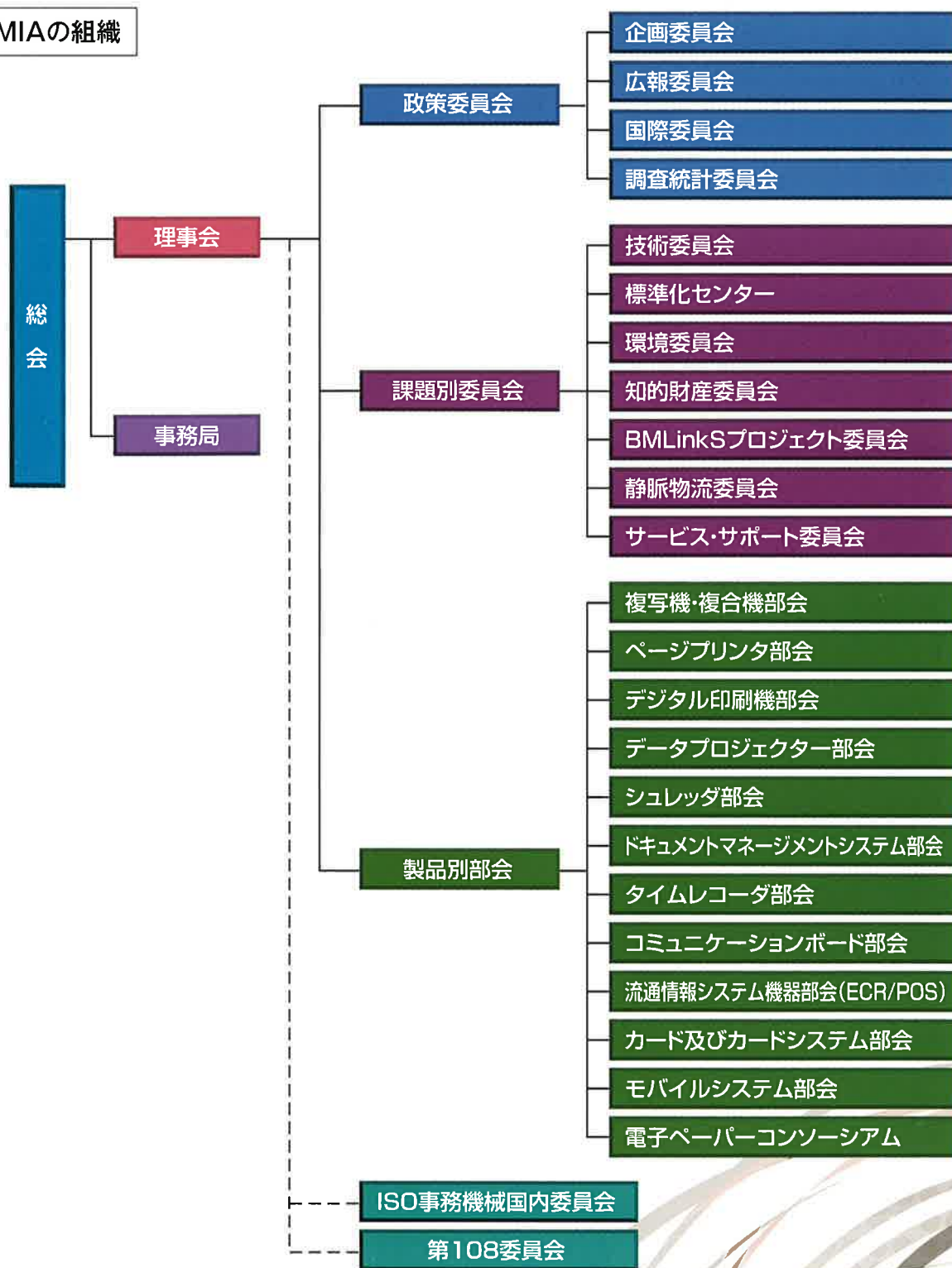
【理 念】

ビジネス機械・情報システムの継続的な革新を通じて、
新しいワークスタイルを提案し、活力あるグローバル社会を創る

【あるべき姿】

- 業界の将来をグローバルに見据え、情報収集、分析を行い、
政策提言ができる団体であること
- お客様の安心・安全・利便性を徹底的に追求していること
- 低炭素社会・循環型社会の実現をリードしていること

JBMIAの組織





TEL: 03-6809-5010 FAX: 03-3451-1770 <http://www.jbmia.or.jp>

